

第70回東京馬術大会/CDI*** TOKYO 2024 実施要項

期 日：令和6年10月17日(木) ~ 20日(日)
 会 場：JRA 馬事公苑 (住所) 東京都世田谷区上用賀2-1-1
 主 催：公益社団法人 東京乗馬倶楽部
 運 営：東京馬術大会組織委員会

スポーツ振興くじ助成事業

【競技種目一覧】

日程	競技番号	※競技区分	競技課目
17 (木)	FS 競技	FS	フレンドシップ(@8分間×A・B各面×7組 計:14組限定)
18 (金)	—	CDI/公認★	インスペクション(CDI)
	第1競技	公認★	FEI インターメディアイトII馬場馬術課目 2009(2022年更新版)
	第2競技	公認★	FEI インターメディアイトI馬場馬術課目 2009(2022年更新版)
	第3競技	公認★	FEI セントジョージ賞典馬場馬術課目 2009(2022年更新版)
	第4競技	公認★	JEF 馬場馬術競技 第5課目 A 2022
	第5競技	公認★	JEF 馬場馬術競技 第4課目 A 2022
19 (土)	第6競技	公認★	JEF 馬場馬術競技 第3課目 A 2022
	第7競技	CDI/公認★	FEI グランプリ馬場馬術課目 2009(2014年改定・2022年更新版) 【三笠宮杯】
	第8競技	公認★	FEI 自由演技インターメディアイトI馬場馬術課目 1998(2009年改定・2022年更新版)
	第9競技	公認★	JEF 自由演技国体成年馬場馬術課目(2022年更新版)
	第10競技	公認★	FEI ヤングライダー個人競技馬場馬術課目 2009(2022年更新版)
	第11競技	公認★	FEI ジュニアライダー個人競技馬場馬術課目 2009(2022年更新版)
	第12競技	公認★	JEF 馬場馬術競技 第4課目 B 2022
	第13競技	一般	JEF 馬場馬術競技 第3課目 A 2022
	第14競技	一般	JEF 馬場馬術競技 第2課目 C 2022
20 (日)	第15競技	一般	JEF 馬場馬術競技 第2課目 B 2022
	第16競技	CDI/公認★	FEI グランプリスペシャル馬場馬術課目 2009(2014年改定・2022年更新版)
	第17競技	CDI/公認★	FEI 自由演技グランプリ馬場馬術課目 1999(2009年改定・2022年更新版) 【エルムス杯】
	第18競技	公認★	FEI インターメディアイトI馬場馬術課目 2009(2022年更新版)
	第19競技	公認★	FEI 自由演技ヤングライダー馬場馬術課目 2006(2009年改定・2022年更新版)
	第20競技	公認★	FEI 自由演技ジュニアライダー馬場馬術課目 2006(2009年改定・2022年更新版)
	第21競技	公認★	JEF 馬場馬術競技 第5課目 B 2022
	第22競技	公認★	JEF 馬場馬術競技 第3課目 B 2022
	第23競技	一般	JEF 馬場馬術競技 第3課目 A 2022
	第24競技	一般	JEF 馬場馬術競技 第2課目 C 2022
第25競技	一般	JEF 馬場馬術競技 第2課目 B 2022	
第26競技	一般	JEF 馬場馬術競技 第1課目 2022	

運営の都合により、やむを得ず参加数の調整を実施する場合には、公認競技を優先した上で、申込書類の到着順にて行う予定です。予めご了承ください。



第70回東京馬術大会 CDI*** TOKYO 2024

1. 競技規程

CDI 競技には FEI の各規程(馬場馬術規程、一般規程、獣医規程)の最新版を適用する。それ以外の公認★競技には、JEF 競技会規程の最新版を適用する。但し、一般競技では下記のローカルルールを定める。

【第70回東京馬術大会馬装等ローカルルール】

一般競技での補助使用は、馬のウェルフェアに反することなく、普段その馬匹で安全に使用しているものであれば全て可とする。

対象競技番号	大勒	小勒	補助具※	拍車	鞭	長靴
13・14・15・ 23・24・25・26	可	可	可	任意	可	ゴム可

2. 参加資格

- 全ての出場選手は、何らかの傷害保険に加入し、別紙誓約書に署名・提出していること。
- 公認★競技に出場する選手は日本馬術連盟騎乗者資格B級以上を取得していること。
- 公認★競技に出場する馬匹は日本馬術連盟の乗馬登録済みであること。但し、最近6ヶ月以内の輸入馬は必ず所定の検疫が完了していること(輸入後初めて入厩する馬は、輸入検疫証明書のコピーを申込と同時に提出すること)。
- CDI 競技には、2024年に16歳の誕生日を迎える選手で、日本馬術連盟騎乗者資格A級を取得し、FEI 選手登録が完了していれば参加できる。
- CDI 出場馬は8歳以上、体高148cmを超える馬格で有効な FEI パスポートを所持していること。
- 一般競技の出場時は選手の騎乗資格を問わないが、所属団体責任者がその技術を認めていること。
- 外国籍の人馬については、FEI 規定に則りその出場を受け付けるものとする。

3. 参加条件

- 第7競技(CDI)の出場選手は、翌日の第16競技「グランプリスペシャル」か第17競技「自由演技グランプリ」のどちらを選択するか申込書に記入すること。但し、第1競技で60%以上のスコアを取得しなければ、翌日の競技に出場することはできない。
- 同一人馬の出場は全て競技において1回に限る。また、1競技1人2頭までの出場に制限する。
- 公認★競技に参加する馬匹は、各競技毎に1競技1回までとする。
- 一般競技に参加する馬匹は、各競技毎に複数選手出場を認めるが、各競技毎に2人までとする。
- 一般競技についてのみ、表彰対象外となるオープン(※)参加を受け付ける。
※ プロ申告をした選手が一般競技にエントリーした時には、自動的にオープン参加とする。

4. 参加料

(1) 選手参加料	CDI 競技(第7競技)	22,000円
	※本競技で一定の得点率を取得すれば、第16競技または第17競技に出場できる。	
	公認★競技	1競技1回 12,000円
	一般競技	1競技1回 10,000円
(2) 馬匹登録料	CDI 競技	1頭につき 50,000円
	公認★競技・一般競技	1頭につき 15,000円

※申込締切日以降でのエントリー追加および変更は、1件につき1,000円を追加徴収する。



第70回東京馬術大会 CDI*** TOKYO 2024

5. 申し込み

(1) 申込先 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町4-8 東京乗馬倶楽部内
東京馬術大会組織委員会 宛
TEL:03-3370-0984 FAX:03-3370-2714 **E-mail : cdi@tokyo-rc.or.jp**

※メールによるエントリーを推奨する。FAXによる送信の場合は、後日必ず原本を郵送すること。

(2) 申込締切日 **令和6年9月7日(土)【必着】**

(3) 参加料振込先

三菱UFJ銀行 西新宿支店 普通預金 4622916
口座名義 公益社団法人 東京乗馬倶楽部

- (4) 「申込書①～③」、「馬事公苑入厩届」、「誓約書」に必要事項をを記入し、参加料の振込明細書写しを添付期限内に申込みこと。締切に遅れた場合や、内容に不備がある場合は申込とは認めない。
- (5) 申込締切日以降の追加エントリーおよび申込済のエントリー変更は、10月7日(月)午後5時まで書面(FAX可)により受け付けるが、全てを認めるものではなく状況によりお断りする可能性がある。送付後の必ず確認を行うこと。なお、追加・変更は1件につき、1,000円を追加徴収が発生する。
- (6) 一度納入された参加料は、主催者都合により変更した場合を除き、キャンセル等により競技に出場されない場合も返金しない。
- (7) 競技スケジュール、使用厩舎数など運営上の理由により締切後に参加数制限を行う場合、公認競技を優先し、一般競技から不実施を含めて調整をお願いすることがある。その場合は書類の到着順に対応し、参加料は返金する。

6. 表彰

- (1) 参加選手は、申込書②にてプロ・アマ種別の自己申告を行うこと。公認★競技では全選手、一般競技ではアマ選手のみを表彰対象とする(プロ選手は表彰対象外のオープン参加扱いとなる)。
- (2) 各競技の出場者上位1/4までを入賞とする。但し、出場者が20名以下の場合、第5位までを入賞とするが、50%未満のスコアによる場合は表彰対象外とする。
- (3) 公認★競技における第4位以下で最終得点率が同率となった場合は、審判員らが出したスコア(得点率)の中央値の高い順にて順位を決定する。それでも同率の場合は、同順位とする。一般競技において最終得点率が同率となった場合は、①主審の総合観察点、③主審の得点率の順で比較し、これが高い順にて順位を決定する。それでも同率の場合は同順位とする。
- (4) フレンドシップ(FS)競技を除く各競技で表彰式を行う予定であり、対象者は必ず参加すること。代理出席を認めるが、出席者は正装で参加すること。表彰式の日程等は別途連絡する。
- (6) 表彰式に参加しない入賞者は、その資格を失い、表彰取り消しにする場合がある。

7. 飼育奨励金

- (1) 公認★競技で67%以上のスコアにより第1位、第2位、第3位となったプロ選手に、『飼育奨励金』として1万円を授与する。スコアが70%以上に達した場合には、飼育奨励金の額を2万円に増額する。
- (2) 自由演技課目を除いた全公認★競技の中で、最高のスコアを記録した選手に対し、『トップスコア賞』として飼育奨励金5万円を別途授与する。
- (3) 第17競技(CDI自由演技グランプリ)では、下記の飼育奨励金を別途設定する。

第70回東京馬術大会飼育奨励金	1位	2位	3位	4位	5位
第17競技(自由演技グランプリ)	12万円	9万円	6万円	3万円	2万円

8. CDI競技について

- (1) CDI出場馬匹のインスペクションは、10月18日(金)の夕刻(午後4時前後)実施予定である。
- (2) 第7競技の出場順ドローは、上記インスペクション終了後に実施予定である。
- (3) CDI出場馬匹は、有効なFEIパスポートを必ず携行すること。



第70回東京馬術大会 CDI*** TOKYO 2024

(4) FEI諸規程に従い競技運営を行うので、出場選手および団体関係者はFEI一般規程、獣医規程、馬ドーピング防止および治療規程等の内容を確認すること。

9. 自由演技課目に使用する音楽CDについて

- (1) 自由演技課目で使用する楽曲に関する手続き等については、公益社団法人日本馬術連盟のウェブサイトにて遺漏なく確認すること。1月から12月の1年間で、1回でも自由演技課目にて楽曲を使用した選手は、複製使用料:年間8,000円の費用負担が日本馬術連盟から発生する。
- (2) 自由演技課目のエントリー申込時に、「録音利用明細書」(JASRAC、日本レコード協会共通)を提出すること。音楽再生用CDには選手名、馬名、種目名を明記し、バックアップ用1枚を含む計2枚を用意、入厩日(10月17日)午後4時までに大会本部に提出すること。
※「録音利用明細書」は日本馬術連盟のウェブサイトにてダウンロードすること。
※「録音利用明細書」未提出の場合は、成績が記録に残らないので注意すること。
- (3) 音楽再生用CDには、使用する楽曲のみを保存し、入場曲付きとすること。使用媒体はCDのみとし、MD・カセットテープ等の他の媒体は不可とする。

11. 打合せ会について

- (1) 打合せ会は10月17日(木)夕刻に、オペレーションセンター2階にて実施予定とする。
- (2) 大会組織委員会は専用サイトにて仮出番表を事前発表する。 ※10月14日午前中を予定。
- (3) 参加団体は仮出番表を確認の上、打合せ会にて棄権および同一団体内での順番入替のみを申し出ることができる。また、その会で承認あるいは確認された事項を優先して競技を運営する。
※欠席する場合、10月17日(木)午後4時までに出番調整の有無を大会本部に申し出ること。
- (4) スケジュールを大きく変更する事態が発生した場合は、臨時打合せ会を実施する場合がある。

12. 宿泊について

- (1) 選手および関係者の宿泊は各自で手配すること。
- (2) 参加1団体につき1名まで、馬取扱人は会場内の休憩施設を他団体との相部屋で利用することができる。その際の利用料は自己負担とし、詳細は別途案内する。なお、施設利用のルールが守られなかった場合は、全団体を対象に休憩施設の利用を禁止することもあるためルールを順守すること。
- (3) 会場内は禁煙とし、周辺でのテント設営、自炊、火気の使用は認めない。

13. 入退厩について ※参加馬の滞在できる期間は、10月17日(木)から20日(日)までです。

- (1) 入退厩については別紙:【JRA馬事公苑施設の利用心得】に記載の時間と方法を守ること。会場内の大会本部は10月17日(木)の午前8時に開設予定である。申込時に到着予定時刻、期間中の車両駐車有無、車のサイズ等必要事項の申告をすること。
- (3) 馬匹到着後は、入厩審査が終わるまで馬房から馬を出すことはできない。
- (3) 入厩後はまず大会本部に健康手帳、乗馬登録証(公認★出場馬のみ)、FEIパスポート(CDI出場馬のみ)を提出し、馬番号を受領すること。提出した健康手帳の入厩審査終了(馬匹運動の許可)連絡があるまで、各団体は馬房で待機すること。なお準備運動馬場の開放時間は別途案内する。
※健康手帳の表紙にて、本大会エントリーでの馬名が確認できるようにしてください(旧名のみ不可)。
- (4) 退厩は、10月20日(日)午後7時までに終えること。
- (5) 大会期間における馬運車及び車両の移動は施設利用のルールを守り、特に大型車両での入苑時は通行経路、一般来園者の安全確保、駐車区域に注意すること。

14. 馬糧・敷料

- (1) 馬糧は各自が用意し、退厩の際は全て持ち帰ること。
- (2) 敷料は会場が指定、手配する木材チップのみとし、厩舎の利用ルールを守ること。



第70回東京馬術大会 CDI*** TOKYO 2024

(3) 馬糞処理のルールを守り、馬糞とその他のゴミを一緒に捨てないこと。

15.防疫について ※入厩届に記載のない馬匹の入厩は認めません。

- (1) 参加馬は、健康手帳及び乗馬登録証(公認競技出場馬のみ)を必ず携行し、別紙の【日本馬術連盟 馬インフルエンザ予防接種実施要領】または【馬事公苑入厩条件】のいずれかを満たしていること。
- (2) 馬インフルエンザが疑われる馬匹は入厩できない。飼養地にて出発前1週間の臨床状態をよく観察し、馬インフルエンザを疑う症状がある場合は、獣医師に検査を依頼すること。
- (3) 競技エントリーの無い馬匹の入厩は認めないが、入厩予定の馬匹に事故ある場合に限り予備馬への変更入厩を認めるので、予備馬を準備する場合は入厩届にその旨を明記し、当初の予定馬同様に記入しておくこと。
- (4) 入厩予定日において輸入検疫後の着地検疫中(3か月)の馬匹は出場できない。輸入後に基礎接種から始めていることが望ましい。獣医師が輸入前の接種歴を要領にある例文の文言を用いて証明し、接種歴のコピーが添付された場合は接種歴として認める。
- (5) 輸送に用いる馬運車は、積み込み前にその内部をパコマあるいは逆性石鹼等で消毒しておくこと。

※入厩できない馬匹が過去に発生しています。別紙資料を熟読し、遵守してください。

16.その他

- (1) 別紙の【JRA 馬事公苑施設の利用心得】を厳守し、大会本部からの情報発信に従い、大会の円滑な運営に協力すること。
- (2) 選手及び馬取扱関係者は、大会会場内において、事故の無いよう細心の注意を払うこと。万一の事故の場合、応急処置は講ずるが、主催者および運営スタッフはその責を負わない。
- (3) 出番順は CDI 競技を除き、大会組織委員会において事前決定する(団体内での順番で希望がある場合、参加申込書にその旨を記入すること)。
- (4) 競技運営に差し障りのない場所を選定し、報道関係者等による写真、ビデオ撮影を行う。また得られた画像等を当競技会の広報活動に使用する予定である。
- (5) 参加団体は、厩舎地区及びその周辺を協力して清掃し、ゴミは持ち帰ること。
- (6) 一般車および馬運車の駐車は、大会本部の指示に従うこと。また、厩舎地区は全面駐車禁止であり、定められた駐車場を使用すること。
- (7) 会場内の施設を破損した場合は速やかに大会本部にその内容を報告し、その後の修繕・復旧作業のための連絡先を申告すること。
- (8) エントリー数の多少により競技日程の変更・中止を行う場合がある。
- (9) 落馬後の再騎乗は、大会本部手配の救護スタッフによるチェック後に認められるが、騎乗者の所属団体及び自己の責任において決定すること。騎乗者が未成年の場合は、その保護者又は監督責任のある者の判断に基づくこと。
- (10) 大会要項及び会場の使用心得を守れない団体は、大会本部より注意勧告を行うが、改善が見られない団体は失格とする場合がある。

「東京馬術大会」本部携帯

※10/17(木)~10/20(日)のみ対応

080-3446-1816